

総合評価の目安

評価できない	改善点が多い	部分的に評価できる	改善点はあるが評価できる	高く評価できる
0点	20点	40点	60点	80点
		100点		

評価・検証の内容 (10項目 × 10点満点)		平均点
形式・妥当性	① 数値目標、達成期限、財源、手法	4点
	② 地域の事情や住民ニーズ、有効性	3点
	③ 地域の分権・自立	4点
推進・進捗よく度	④ 住民に対する周知・説明	4点
	⑤ 町長のリーダーシップ	4点
	⑥ 市民団体の理解・協力	3点
	⑦ 推進体制 (組織機構)・実行計画	3点
効果	⑧ 評価、検証、満足度	3点
	⑨ 課題の解決、住民の生活向上	3点
	⑩ 問題意識や課題検討	3点

総合評価 34点

※総合評価は、意見交換会に参加された町民 22 人の平均点です。

- ③ 地域の分権・自立
 - ・分権との関係説明がないので分からない。自立は評価できる(5点)
 - ④ 住民に対する周知・説明
 - ・この項目だけと考えると不明な点が多いが、全体的に説明会など頑張っている(6点)
 - ⑤ 町長のリーダーシップ
 - ・今日(の意見交換会に)参加の職員の数が少ない(2点)
 - ⑥ 市民団体の理解・協力
 - ・今日の町民参加が少ない(1点)

意見交換会の総評で、神吉信之氏(ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州代表)は、「マニフェストは、①②③(形式・妥当性)ができていないと、残りの項目が検証できない。今回の(取り組みの)設定は、①②③ができていない。数値目標は、(祖父母の育児体験を)募集とあるため、募集件数の数値を設定することが可能。アンケートなどを実施して効果を検証し、改善していくことも大事なこと」とコメント。

山本町長は、「担当課では(事業の)範囲が狭く見えないが、町民の目線では、横のつながりが見えるので気づき生まれる。今年からマニフェスト実行隊の人数(7人↓13人)を増やし、マニフェストヒアリングも

- ⑧ 評価、検証、満足度
 - ・検証資料の成果内容が本当であれば(高く評価できる)(10点)
 - ⑨ 課題の解決、住民の生活向上
 - ・この項目は、取り組み次第で住民の福祉の向上に資するが、いまひとつの状態(5点)
 - ⑩ 問題意識や課題検討
 - ・問題意識や検討課題が明らかになっていくことが良い(6点)

担当外から見た率直な疑問や気づきを大切にしている。行政の仕事も従来のやり方から目標指向型へ変えていく必要がある」と町民目線を高く評価する一方、行政事務が転換期に直面していることを指摘しました。

マニフェストを評価・検証した初の意見交換会を終えて、参加された町民からは行政を批判する意見ではなく、行政サービスの改善や向上を望む声であり、まちづくりへの新たな一歩を踏み出したと言えます。

12月の意見交換会のお知らせ

テーマ：地域振興

「地域性を生かした生産体制の確立を図る。循環型農業を確立し、ブランド化、オリジナル性を確立し、直売所を生かす」

▶日時 12月17日(木) 午後7時30分～午後9時

▶場所 カルチャーセンター2階大会議室



町民との約束を町民が採点 果たして、その点数は？

問 総務課秘書係 (内線203)

マニフェスト(公約)の進捗よく状況を町民の目線から評価・検証をする意見交換会が10月19日、カルチャーセンターで行われました。ここでは、担当課の事業取り組みに対しての町民評価を整理してお知らせします。

祖父母が育児に参加? その取り組み明らかに

初回となった意見交換会で、評価・検証に選ばれたのは、マニフェストの柱5「誰もがいきいきとみんなで支える福祉のまちづくり」に含まれる「祖父母の育児体験を募集し、子育て情報の提供・支援サービスを実施する」の取り組みです。

担当の福祉課では、①子育て支援センター②つどいの広場③子育てサポートなどの事業を取り組みとして説明(下表)。この取り組みは、御船昭和保育園、NPO法人子育て談話室への委託事業で、子育ての支援や相談、保育体験、保護者交流の場として提供されているものです。取り組みの中で、日本茶講座や食の交流、親子ふれあい遊びに祖父母が

参加して交流が図られた実績を挙げました。結果、保護者に祖父母世代の知恵や文化が伝わったことや地域の祖父母と顔見知りになったことが成果に結びつきました。

町民一人ひとりが採点 個人評価で明暗分かれる

福祉課からの事業説明を受けて、評価・検証(10項目×10点満点)をワークシヨップ形式で行い、次のような意見が踏まえられて採点されました(5ページ表)。

- ① 数値目標、達成期限、財源、手法
 - ・祖父母の育児体験が募集されていない。工程も子育て支援センターや広場では作れない(4点)
- ② 地域の事情や住民ニーズ、有効性
 - ・アンケートはとっているが、その後反映されていない(4点)

主な取り組み	実施年度			効果・成果	期限(年月)	達成度(%)
	H19	H20	H21			
① 子育て支援センター 親子ふれあい遊び、町内保育所・幼稚園で交流会	○	○	○	祖父母との交流もあって、祖父母世代の知恵や文化が伝わった	なし(継続)	—
② つどいの広場 日本茶を親しむ講座、手作りおやつ交流	○	○	○	地域の祖父母世代と顔見知りになった	なし(継続)	—
③ 子育てサポートセンター 保育所や幼稚園、学童の送迎、子どもの一時預かり	○	○	○	祖父母の育児体験が子育て中の親子に直接体験を通して伝わった	なし(継続)	—

子育て関係の事業を簡単にご紹介

① 子育て支援センター	② つどいの広場	③ 子育てサポートセンター
場所/御船昭和保育園、町内5箇所の公民館(御船、木倉、小坂、下高野、浅の藪)	場所/御船公民館分館	場所/御船公民館分館
内容/子育ての情報提供・相談など	内容/子育て親子の交流の場を提供、育児不安の相談など	内容/子育てサポーターが子どもの送迎、一時預かりなど
対象/6歳までの子どもと保護者	対象/3歳までの子どもと保護者	対象/小学校3年生まで
利用/平日・午前10時～午後3時	利用/平日・午前10時～午後4時	利用/平日・午前7時～午後8時
料金/無料	料金/無料	料金/1時間500円

※子育て事業の詳しい内容は福祉課児童福祉係(内線150)までおたずねください。